

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	再生可能エネルギー導入推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギー使用の合理化に関する法律、第4次鳴門市地球温暖化対策実行計画「エコ・オフィスなと」、鳴門市環境基本計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なと			終了
(小項目)		エネルギー使用			
施策	7	地球温暖化・省エネ対策の推進			
基本事業	4	再生可能エネルギーの導入			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市遊休地、市施設および市域における資源エネルギーの再生可能な陸海上の全域						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市における、自然環境や社会環境等に配慮した温室効果ガス排出量の削減や地域活性化等に向けて、太陽光をはじめとする再生可能エネルギーの導入促進を図る。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	(公財)世界自然保護基金ジャパン等4者で締結した「鳴門市での再生可能エネルギー導入促進に関する協定」に基づき、協議会を5回開催し、鳥類への影響評価や、ゾーニングの最終評価図等についての検討を行い、「鳴門市における陸上風力のゾーニング評価マップ」の完成をめざす。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		太陽光発電導入箇所	3	2	2	2	2	箇所

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	市内の太陽光発電を設置した施設について、28年度も太陽エネルギーの利用を継続している。(公財)世界自然保護基金ジャパン等4者により、環境省の「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」を利用して陸上ゾーニング評価マップを作成した。 下半期は、環境省「平成28年度風力発電等に係るゾーニング手法検討モデル事業」を受託し、海域における洋上ゾーニング評価マップの作成に取り組み、様々な調査・研究を行った。29年度は、同マップの完成を重点事業に位置付けている。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 鳴門市での再生可能エネルギー導入に関する協定者との会議(H27・28)	10	7	0	0	0	回
	2 洋上ゾーニング評価マップ作成業務検討会議(H28.29年の2ヶ年事業)	0	5	10	0	0	回
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	太陽光発電導入箇所	9	0	—	—	—	箇所
	目標達成率(実績/目標)	0.0		—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	300	300
		補正予算額	19,500	0	0	0	0	19,500
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	19,500	0	0	0	300	19,800
		決算額	18,897	0	0	0	0	18,897
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.5	0.3		4,179		23,076	

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	0	18,897	19,750	未定	未定
	うち一般財源	0	0	0		
	人件費	3,430	4,179	4,179		
	総事業費	3,430	23,076	23,929		

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		太陽光発電施設による温室効果ガス排出量の削減に取り組むとともに、風力発電による再生可能エネルギーの研究に取り組んだ。
	効率性	B:概ね効率的だった		太陽光発電の利用を効率的に継続するとともに、風力による自然エネルギーの活用を研究した。
②成果に対する評価	指標名	太陽光発電導入箇所		太陽光発電導入箇所について、昨年度に優先設置事業者との連携により目標を大きく上回ったため、今年度については新たな設置に至らなかった。
	目標	2	箇所	
	実績	0	箇所	
	評価	D:目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		今年度は、風力発電による再生可能エネルギーの検討に重点をおいた。新たな施設への太陽光発電設置はなかったが、既存の設置施設については効率的に太陽光エネルギーの利用を継続している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	「鳴門市での再生可能エネルギー導入促進に関する協議会」を設立し、環境省「風力発電等環境アセスメント基礎情報整備モデル事業」による陸上ゾーニングマップを作成した結果、本市においては環境負荷が大きいとされる「レッドゾーン」が大部分を占めていることが判明した。平成28年度に受託した環境省「風力発電等に係るゾーニング手法検討モデル事業」において、里浦沖海域における洋上ゾーニング評価マップを29年度末までに作成する。その後、陸上・洋上の両面から自然環境や社会環境と調和する再生可能エネルギー導入計画について検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	再生可能エネルギー導入計画に係る洋上ゾーニング評価マップの作成に取り組むとともに、市有地等を活用した自然エネルギーの利用を継続する。			
	H30年度	陸上・洋上の両ゾーニング評価マップを活用した再生可能エネルギー導入計画について検討する。			